

公益社団法人福知山市文化協会

令和8年度第1回理事会議事録

- 1 日 時 令和8年5月8日（金）19時～20時22分
- 2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 視聴覚室
- 3 理事数 17名（定足数9名）
- 4 出席者 理 事 14名
足立由香理 池田 聡 大西裕美 大橋恒雄 尾松克巳
折杉浅子（遅刻） 衣川洋子 塩見榮子 田淵百合子
徳永貴光 稗田勅子 前田竹司 前原克子（遅刻）
山路聖市
監 事 2名
榎原博雄 山口 誠
- 5 欠席者 理 事 3名
大槻 紘 桐村一彦 塩見正仁
監 事 0名
- 6 議 題
- | | | |
|-------|-------------------|------|
| 第1号議案 | 令和7年度事業報告について | 承認事項 |
| 第2号議案 | 令和7年度収支決算について | 承認事項 |
| 第3号議案 | 次期役員候補者の選任について | 同意事項 |
| 第4号議案 | 令和8年度第1回総会の招集について | 決議事項 |
| 報告第1号 | 会員の退会について | |
| 報告第2号 | 会員の退会について | |

7 議事の経過及びその結果

定刻19時、司会者池田聡理事兼事務局長より上記出席状況の報告があり、定款第33条第1項の定めにより理事の過半数を満たし、本日の理事会が有効に成立した旨を宣言した。（開会時12名）

さらに、定款第32条の定めにより前田竹司会長が議長にあたること、及び定款第34条第2項の定めにより出席した代表理事である前田会長並びに榎原博雄監事及び山口誠監事が議事録に記名押印することの説明があった。

次いで前田会長が議長となり、下記のとおり審議した。

記

最初に、前田議長より、「第1号議案 令和7年度事業報告について」及び「第2号議案 令和7年度収支決算について」を一括議題とする旨、宣言があった。

第1号議案 令和7年度事業報告について

定款第21条第4項の定めによる会長・副会長・専務理事の自己の職務の執行の状況の報告を順に行った。

なお、大槻紘副会長については昨年秋より病氣療養が続き活動できなかつたため、大槻副会長の担当業務についてはそれぞれの委員会で副委員長の大橋恒雄副会長より、また文協フェスティバルについては、舞台部門の委員長の稗田勅子副会長よりまとめて報告することとした。

最初に前田会長より次のとおり報告があった。

〔令和7年度事業報告及び収支決算の概要〕

令和7年度は、各種事業を概ね計画どおり実施し、市民への文化活動の機会提供と加盟団体間の連携強化を図ることができた。

一方で、会員の高齢化による会員数の減少などの課題が引き続き見られた。

決算面では、会費収入の減少やチケット収入の伸び悩みにより、令和6年度に引き続き赤字決算となったが、繰越財産は一定額を確保しており、現時点で運営に大きな支障はない。

今後は、会員の維持・拡大に向けた取り組みや集客力のある事業企画、収入確保の強化等に取り組む、持続可能な運営に努める。

〔第61回福知山市展〕

10月31日から11月3日まで4日間にわたり、今回より会場を福知山市厚生会館から市民交流プラザふくちやまに変更し開催した。

三たん地方（旧丹波・丹後・但馬地方）から作品を募集し、入賞作品の展示及び優れた作品を顕彰する公募展であり、出品者数は302名、応募数は404点、展示数は286点で、延べ2,234名の入場があった。

入場者数は令和6年度より大幅に増加したが、駐車場の確保が容易であったことが大きい。

〔中丹地域における文化行事に対する協力〕

京都府中丹文化事業団による第39回中丹文化芸術祭の「踊りとダンスの祭典」「中

丹写真展」「コーラスフェア2025」「短歌・俳句・川柳公募'25表彰式」「邦楽のつどい」に、第11回中丹文化交流フェスタの「ジュニア文化祭」「アンサンブルフェア」にそれぞれ加盟団体が出演及び推進委員として協力した。

福知山市と舞鶴市、綾部市の文化協会が組織する中丹文化協会連絡協議会では、舞鶴市文化協会を事務局とし、10月に中丹文協連だよりを4,000部発行した。

福知山市内の旧1市3町の文化協会が組織する福知山市域文化協会連絡協議会では、大江町文化協会を事務局とし、夜久野町文化協会の「第25回文化祭」及び大江町文化協会の「第50回文化祭」に加盟団体が交流出展に協力した。

ここで前田議長より、本来であれば大槻副会長より「第32回文協フェスティバル」及び「文化活動に貢献した団体及び個人の表彰」について報告するところであるが、昨年秋より病氣療養中のため、文協フェスティバルについては舞台部門の委員長の稗田副会長より、また表彰については審査委員会の副委員長の大橋副会長より報告する旨提案があり、一同これを了承した。

次に、前田議長の指示により、稗田副会長より次のとおり報告があった。

〔第32回文協フェスティバル〕

2月28日及び3月1日の2日間、福知山市厚生会館で開催した。

加盟団体が一堂に集い展示部門・舞台部門ともに日ごろの活動の成果を発表する当協会のメイン事業であり、舞台部門で21団体(出演242名)、展示部門で12団体・2個人(作品229点)、交流出展3団体(作品14点)の参加があり、合わせて理事の任期中に亡くなられた芦田哲司様及び小橋美蘭様の遺作展(作品20点)も開催し、延べ1,564名に会場いただいた。

入場者数は令和6年度より大幅に増加したが、コロナ禍前に2,000名以上の来場があったことを考えると、令和6年度からグンゼ福知山配送センターを来場者の無料駐車場として確保できない影響は大きい。

〔特別事業〕

11月3日、福知山市厚生会館で「上方男四人衆～昭和100年！歌で時代を振り返る！！～コンサート」を開催した。

当地で一流の演奏を市民に提供する趣旨で開催しており、各団体等の協力により543枚のチケットを販売でき、439名の入場者があった。

販売枚数・入場者数とも令和6年度より大幅に増加し、プロとして活躍中のオペラ歌手によるおなじみの曲を気軽に楽しめるコンサートとして来場者アンケートでも好評を得た。

〔第43回福知山市合唱祭〕

1月25日に福知山市厚生会館で開催した。

市内のコーラス活動を行う各界各層が一堂に集い、32団体・延べ580名が出演し、304人の鑑賞者があった。

出演者は令和6年度より減少したが、当日、降雪により不参加となった団体があった。

また、コロナ禍前には1,000名以上の出演があったことを考えると、文協フェスティバル等と同様、令和6年度からグンゼ福知山配送センターを出演者の無料駐車場として確保できない影響は大きい。

〔広報誌しんかわらばん〕

当協会の活動を広く周知するため、年2回、77号を7月末に、78号を3月末に各1,600部を発行した。

次に、前田議長の指示により、大橋副会長より次のとおり報告があった。

〔文化活動に貢献した団体及び個人の表彰〕

加盟団体及び本部より具申のあった候補者を顕彰審査委員会で審査の結果、表彰状を2名・2団体に授与、感謝状を1名に贈呈することとし、1月18日の新年互礼会の席上、表彰式を挙行了した。

〔文学のしるべ〕

資料には記載していないが、令和6年度で事業を終了したことに伴い、令和7年度で発行を予定していた建立作品集について、予算を大きく上回る経費が必要となることが判明したため発行を延期し、令和8年度で当協会創立80周年記念事業の一環として発行することに3月の総会で承認を得た。

最後に、前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より次のとおり報告があった。

〔第56回市民文化教室〕

講師を加盟団体の会員が務め、7月から12月までさまざまな初心者向けの教室を開設した。

受講申込が少なく中止を余儀なくされた教室もあったが、12教室で合計58回開催し、実数96名、延べ359名の受講があった。

〔第78回福知山市文化祭〕

年間を通じて加盟団体の会員が舞台公演や作品展示などを行い、日ごろの研鑽の成果を発表した。

各会場において合計29行事を実施し、入場者数は延べ5,056名となった。

〔文化施設の管理運営〕

貸館利用では合計9件、延べ45名の利用があったほか、当協会の会議等を含めると全体で合計10件、延べ49名の利用があった。

施設の老朽化が進んでおり、冷暖房が故障のため使用できないことから、年々利用者が減少しており、今後の利用者の増加も期待できない。

〔その他目的を達するために必要な事業〕

「FM丹波『文化は心の癒し』」については、加盟18団体のほか、役員も本部行事の周知のため出演し、協会の事業や加盟団体の文化活動を市内外に広く知っていただき文化活動の振興を図った。

「福知山公立大学まちかどキャンパス『吹風舎』作品展示」については、加盟3団体に2～3ヵ月周期で作品を展示し、大学生等に加盟団体の文化活動をアピールした。

「新年互礼会」については、1月18日（日）にホテルロイヤルヒル福知山&スパで123人の出席により開催し、新年の始まりにあたり関係者が一堂に会し親睦を深めた。

「後援事業」については、8事業について後援を承認した。

その他、加盟団体や役員等の状況、主催・共催事業の会議等、公益社団法人に関する京都府への報告や京都市方法務局への役員変更登記、他団体等の会議への参画、各種行事への出席、福知山市社会教育関係団体に係る市民交流プラザ等会場使用料減免申請について報告があった。

〔運営体制の充実を図るための取組〕

「外部役員の登用」については、現在の役員の改選時に最低1名は外部監事を設置しなければならないが、理事については小規模法人の特例で外部理事を設置する必要はないが、当協会ではすでに条件を満たしている。

「情報公開の向上」については、当協会のホームページの改修の際、各種情報公開データを掲載し、組織の透明性を高めた。

「職員の研修派遣」については、事務局職員を新公益法人制度に関する外部セミナーに派遣し、運営基盤の充実を図った。

第2号議案 令和7年度収支決算について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

〔貸借対照表及び注記〕

新公益法人制度への移行に伴い、今回より、貸借対照表をはじめ各種資料を令和6年「公益法人会計基準の運用指針」に示された様式に準拠し作成した。

資産合計及び負債・純資産合計はそれぞれ2,532万8,334円となり、前期の2,585万9,086円と比較すると、53万752円の減少となった。

負債合計は19万4,316円となり、前期の16万7,699円と比較すると、2万6,617円の増加となった。

純資産合計は2,513万4,018円となり、前期の2,569万1,387円と比較すると、55万7,369円の減少となった。

〔活動計算書及び注記〕

経常収益の資産運用益は3万7,113円となり、前期の2,747円と比較すると、利率の大幅な上昇により3万4,366円の増加となった。

受取会費は180万2,000円となり、前期の195万5,000円と比較すると、会員数の大幅な減少により15万3,000円の減少となった。

受取会費は入会金及び会費に関する規則第4条の定めにより、公益目的事業に4割、公益目的事業以外に6割を配分した。

受取補助金は福知山市への請求内訳を基準に、受取負担金は福知山市との共催事業の2分の1以内の精算内訳を基準に、公益目的事業会計及び収益事業等会計及び法人会計に配分した。

受取寄付金は、令和7年度で解散された団体より、当協会の事業や運営全般に役立ててほしいと10万円の寄付があった。

経常収益計は602万3,753円であり、前期の607万9,747円と比較すると、5万5,994円の減少となった。

経常費用のうち、事業費は523万3,203円であり、前期の499万5,377円と比較すると、23万7,826円の増加となった。

管理費は134万7,919円であり、前期の135万7,014円と比較すると、9,095円の減少となった。

経常費用計は658万1,122円であり、前期の635万2,391円と比較すると、22万8,731円の増加となった。

経常収益費用差額はマイナス55万7,369円であり、前期のマイナス27万2,644円と比較すると、28万4,725円の赤字の増加となり、2年連続の赤字決算となった。

財源区分別内訳の指定純資産は、定期預金の合計2,000万円である。

会計区分及び事業区分別内訳の当期収益費用差額は、公益目的事業会計でマイナス24万996円、収益事業等会計でマイナス19万5,985円、法人会計でマイナス12万388円、合計でマイナス55万7,369円となった。

事業費・管理費の形態別区分は、給料手当から福利厚生費までの人件費は事務局長及び臨時職員の従事割合により配賦し、人件費以外は直接執行した費用を積み上げそれぞれの会計に分類した。

公益目的事業会計が470万3,793円、収益事業等会計が52万9,410円、法人会計が134万7,919円、合計が658万1,122円となった。

その他、令和7年度収支決算集計表により、予算との比較との観点で差額の大きいものについて説明があった。

公益法人に義務付けられた50%以上の公益目的事業比率は、71.5%となった。

また、資料には記載していないが、令和6年の公益法人立入検査で指摘された使途不特定財産（改正前の遊休財産）の保有制限超過の改善状況は、43万225円の超過となり、前期の122万9,479円と比較すると、79万9,254円の改善となった。

池田専務理事兼事務局長による説明の後、監事を代表して榎原監事より監査の方法及びその内容に基づく監査の結果として、「事業報告は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認める」「理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない」「計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める」との監査報告があった。

なお、前年度に引き続き単年度収支が大幅な赤字となった件について、「繰越財産の状況から直ちに財政運営に重大な支障を及ぼすものではないが、今後は収支の均衡に十分留意した事業運営に努められたい」との意見があった。

前田議長は第1号議案及び第2号議案について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり承認した。

第3号議案 次期役員候補者の選任について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

役員任期満了に伴い令和6年度第1回総会において選任を依頼する理事の候補者は、再任12名、新任13名、合計25名である。

監事の候補者は、再任2名、合計2名である。

前田議長は本件について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり推薦することに同意した。

第4号議案 令和8年度第1回総会の招集について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

令和8年度第1回総会を5月26日（火）19時から市民交流プラザ3階市民交流スペースで開催する。

議題は先ほど審議した第1号議案「令和7年度事業報告について」及び第2号議案「令和7年度収支決算について」及び第3号議案「次期役員候補者の選任について」である。

本日この後、それ以外に総会で提案する議題が出てきた場合、追加して記載する。

総会を欠席される場合には書面による議決権の行使を認め、議案ごとに賛否を問うこととする。

前田議長は第4号議案について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり可決した。

報告第1号 会員の退会について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり報告があった。

3月31日をもって退会したい旨、琴城流大正琴KOTONEの代表・西村聡美様から退会届の提出があった。

報告第2号 会員の退会について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり報告があった。

3月31日をもって退会したい旨、一般社団法人福知山芸術文化振興会の代表・吉田佐和子様から退会届の提出があった。

以上で、事前に予定していた議題の審議及び報告を終了し、前田議長はその他議題として取り上げたい内容や、その他の意見、提案等を求めたが発言はなく、以上をもってすべての審議を終了し、20時22分、前田議長は閉会を宣言した。

上記、議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和8年5月9日

公益社団法人福知山市文化協会 令和8年度第1回理事会

代表理事 前 田 竹 司 ㊟

監 事 榎 原 博 雄 ㊟

監 事 山 口 誠 ㊟